

輝き放ち、極まるハリ。
静なる時間が、美の本質を呼び覚ます。

ポーラ最高峰の美容液が進化
ザフォース
『B.A グランラグゼⅣ』誕生

株式会社 ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：及川 美紀）は、ポーラ最高峰の美容液が進化した『B.A グランラグゼⅣ』（50g ¥79,200 <税抜 ¥72,000>、リフィル ¥75,900 <税抜 ¥69,000>）を2023年10月1日に発売（旗艦店ポーラ ギンザでは7月1日より先行発売）します。

B.A グランラグゼは、初代が誕生した2006年以来、ポーラブランドの中で最高峰の、乳液を兼ねた美容液として、B.Aの根幹思想であるバイオアクティブ理論^{*1}のもと、その時代の変化とともに進化してきました。

B.A グランラグゼⅣが提案する、美の本質は、「生命の本質を体感することによって、新たな可能性を広げること」です。これこそが次世代ラグジュアリーと考えます。

◆ 『B.A グランラグゼⅣ』の主な特長

【理論】GOバイオアクティブ理論：生命の静なる時間に着目した理論。輝き放ち、極まるハリを目指す。

【配合成分】新ポーラオリジナル複合保湿成分「姫蒲GOエキス^{*2}」、ポーラ主要3ブランドと共通のオリジナル美容成分^{*3}を配合。

【処方】

- ①うるおいを時間差で放出する処方を初めて採用。保湿成分を含んだ水系成分を「早く」放出するクイックキャリアと、「ゆっくり」放出するスローキャリアを共存させることで、うるおいを肌^{*4}に浸透させることを目指す。
- ②バウンズリフレクト処方：ハリ感を与える角層構造のバランスに着目。肌そのもののハリ・弾力感を肌上に感じるような、やわらかな角層を目指す。
- ③ハイエクспанディング処方：B.A グランラグゼⅢの処方を新製品でも採用。高分子ヒアルロン酸を小さく凝縮。ふくらむようなハリ・弾力感を与える。

【香り】静の時間へ誘うような香りとして、自分の感情が内側に向かい、没入するような大自然の土の香りに着目。新たに「ヘッドスペース法」という手法を採用し、箱根の森にあるリアルな土の香り成分を採取。



全国のポーラビューティーディレクター、コスメ&エステショップ「ポーラザビューティー」約510店舗・旗艦店「ポーラギンザ」・全国有名百貨店等ポーラコーナー82店舗を含む約2,800店、日本国内空港免税店コーナー12店舗、ポーラ公式オンラインストア（<https://www.pola.co.jp/ec/>）にてお取り扱いします。（2023年3月末時点）海外では、中国大陸・香港・台湾・マカオ・タイランド・シンガポール・韓国・マレーシアの8つの国と地域、中国（海南島）・ベトナム・オーストラリアの免税店にて順次発売予定です。

2023年10月1日発売（旗艦店ポーラ ギンザでは7月1日より先行発売）

B.A グランラグゼⅣ

<美容液・乳液>

50g ¥79,200（税抜 ¥72,000）

リフィル ¥75,900（税抜 ¥69,000）

◆アレルギーテスト済み（全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません）

^{*1}：人が本来持つ可能性を引き出す考え方

^{*2}：ヒメガマ穂エキスとカミツレ花エキスの複合成分 ^{*3}：保湿成分 ^{*4}：角層

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ ブランドコミュニケーション部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3

TEL：03-3494-7119 FAX：03-3494-6198

【お客さまからのお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111

POLA



静かに。

未来が動く音がする。

私たちは静と動でできている。

静かな時間。それは空白ではなく、
覚醒へと研ぎ澄まされていく時間だ。

肌も、活動と休止をくり返しています。

B.Aは発見しました。実は、肌の休止期に
エネルギー活動が行われていたことを。
肌は密かに美しさを準備していたのです。

耳を澄ませば、内側で音がする。

何かが動く音。新しいあなたが目覚める音。

そして、ハリと輝きの始まりへ。

B.A グランラグゼ IV、誕生。



輝き放ち、極まるハリ。
静なる時間が、美の本質を呼び覚ます。
ポーラ最高峰の美容液が進化

『B.A グランラグゼ IV』誕生

1985年、年齢とともに変化する肌を科学するために、B.Aは誕生しました。
“人の可能性は広がる”というポリシーを掲げ、肌領域に関わらず、
脳・神経科学や心理学、感性工学など多角的に研究を深め続けています。

B.A グランラグゼは、初代が誕生した2006年以来、
ポーラブランドの中で最高峰の、乳液を兼ねた美容液として進化してきました。

B.A グランラグゼが提案する美の本質とは、
“生命の本質を体感することによって、新たな可能性を広げること”です。
B.A グランラグゼは、これこそが次世代ラグジュアリーと考えます。

B.A グランラグゼ IVは、生命の静なる時間に着目。
新技術である「早く」と「ゆっくり」の時間差放出処方や
肌そのもののハリ・弾力感を肌上に感じるような、
やわらかな角層を目指す処方を新たに採用。
ポーラ主要3ブランドと共通のオリジナル美容成分^{*1}を、この一本に。
全方位に解き放つ、輝きと立体感^{*2}を目指します。

2023年10月1日発売
(旗艦店ポーラ ギンザでは7月1日より先行発売)

B.A ^{ザフォーエス} グランラグゼ IV
<美容液・乳液>

50g ¥79,200(税抜 ¥72,000)
リフィル ¥75,900(税抜 ¥69,000)

◆アレルギーテスト済み
(全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません。)

^{*}1:保湿成分 ^{*}2:うるおいによるツヤで立体的に見せること



POLA



B.A グランラグゼ IVが提案する“美の本質”

B.A グランラグゼは、初代が誕生した2006年以来、ポーラブランドの中で最高峰の、乳液を兼ねた美容液として、B.A の根幹思想であるバイオアクティブ理論^{※1}のもと、その時代の変化とともに進化してきました。B.A グランラグゼ IVが提案する、美の本質は、「生命の本質を体感することによって、新たな可能性を広げること」です。

〈B.A グランラグゼの歴史〉



2006年発売
ザ B.A グランラグゼ^{※2}
【医薬部外品】
「存在感まで、美しく」
初代グランラグゼ



2013年発売
B.A グランラグゼII^{※3}
【医薬部外品】
「重ねた時間を、輝く力へ」



2019年発売
B.A グランラグゼIII^{※4}
【医薬部外品】
「好奇心を、美しさに」



NEW
2023年発売
B.A グランラグゼ IV

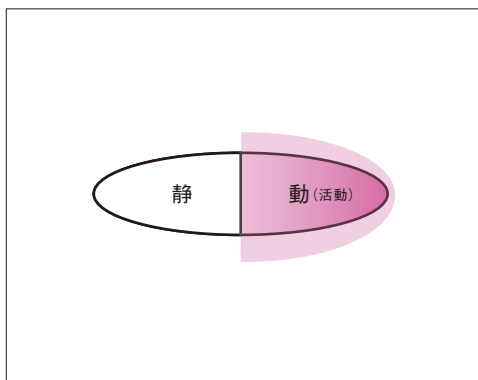
※1：人が本来持つ可能性を引き出す考え方 ※2：販売名 ポーラ ザ B.A グランラグゼ ※3：販売名 ポーラ B.A グランラグゼII ※4：販売名 ポーラ B.A グランラグゼIII

開発の背景

生命の本質である静と動の「連続性」により生まれる美しさの良循環

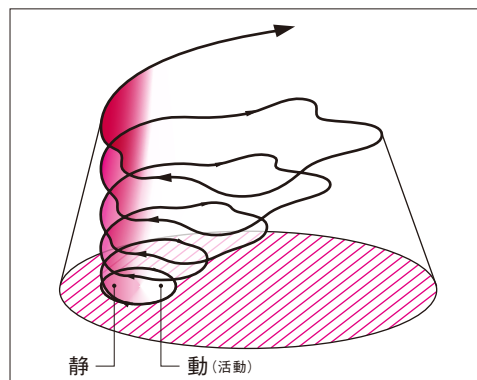
B.A グランラグゼ IVが新たに着目したのは、生命の本質である静と動の「連続性」により生まれる、美しさの良循環です。時間軸でとらえると、人は「静」と「動」の時間があり、循環しています。B.Aは、「静の時間＝休んでいる時」、「動の時間＝動いている時」という常識を改めて考えました。例えば、良質な睡眠が身体にとっては次の「動」の活力となり、さらなる広がりを生んだり、自分の心が満たされる豊かな時間が、明日への希望になるように、本質を見つめ、次に向けチャージする、充実した「静」の時間があるからこそ、肌も人も、動の時間が活性化し、持続的で広がりのある良循環を生み出せるのではないかと考えました。このような着想のもと、当たり前にある「静の時間」の重要性を見つめ直し、「静」へのアプローチによって、「静と動」の連続性で美しさが高まり続ける循環を目指し、開発を進めました。

これまで



その時の動を高めて拡張する

これから



「静と動」の連続性で高まり続けるような循環をつくる

※画像はイメージです



[製品特長]

生命の静なる時間に着目。輝き放ち、極まるハリを目指す

理論

NEW

^{ジーゼロ}GOバイオアクティブ理論*1

生命の静なる時間に着目した理論。輝き放ち、極まるハリを目指す。

成分

NEW

ポーラオリジナル複合保湿成分「^{ヒメガマ}姫蒲GOエキス*2」を配合。



ヒメガマ

ポーラ主要3ブランドと共通のオリジナル保湿成分

◆ 弾むようなハリ肌をサポート

- ・ ポーラオリジナル複合保湿成分「白桜バークV」「Sプロテインリキッド」「BAコアリキッド」「仙人穀ロスマ」を配合。
- ・ ポーラオリジナル保湿成分「ブレインクロストークRU」「ゴールデンLP」を配合。

◆ みずみずしい透明感*3をサポート

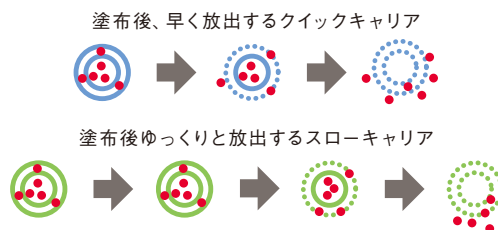
- ・ ポーラオリジナル複合保湿成分「BPルミナエキス」「ディープラスター」「m-Aクリアエキス」を配合。
- ・ ポーラオリジナル保湿成分「セルエンスAC」「SCRリキッド」「YACエキス」「EGクリアエキス」を配合。

※1：人が本来持つ可能性を引き出す考え方 ※2：ヒメガマ穂エキスとカミツレ花エキスの複合成分 ※3：うるおいによる
(写真はイメージです)

新開発処方①

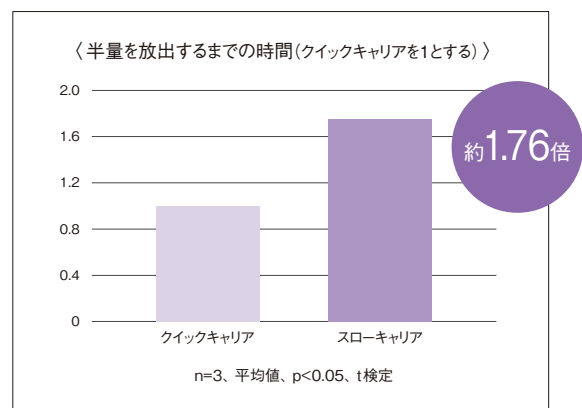
「早く」と「ゆっくり」を両立する時間差放出処方

今回、うるおいを時間差で放出する処方を初めて採用しました。保湿成分を含んだ水系成分を「早く」放出するクイックキャリアと、「ゆっくり」放出するスローキャリアを共存させることで、うるおいを肌*に浸透させることを目指します。



*イラストはイメージです

右のグラフは、2種類のキャリアがそれぞれ半量放出するまでにかかる時間の違いを算出したものです。スローキャリアは、クイックキャリアに比べておよそ1.76倍の時間を必要としています。



蛍光分光光度計での蛍光強度測定
蛍光強度が初期から半値になるまでの時間を測定し、クイックキャリアを1としたときのスローキャリアの値を算出した。

(B.Aリサーチセンター調べ)

※：角層



[製品特長]

新開発処方②

やわらかな角層を目指すバウンスリフレクト処方

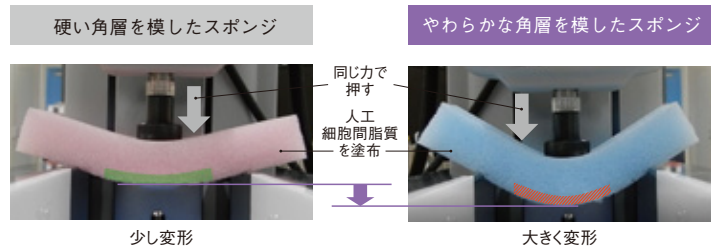
◆バウンスリフレクト処方：ハリ感を与える角層構造のバランスに着目。

肌そのもののハリ・弾力感を肌上に感じるような、やわらかな角層を目指す。

新着目

やわらかな角層では、肌そのもののハリ・弾力感を肌上に感じやすい

右の写真は、混合油剤を人工細胞間脂質と混ぜ、スポンジの片面に塗布し、反対側から押した時のスポンジの曲がり具合を測定し比較したものです。左側の硬い角層を模したスポンジと比較すると、右側のやわらかい角層を模したスポンジの方が、大きく変形し、その力をより反映できています。このことから、やわらかな角層では、肌そのもののハリ・弾力感を肌上に感じやすいことが考えられます。



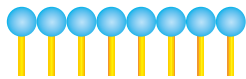
スポンジを皮フに見立て、片面の表層に人工の細胞間脂質を塗布し、反対側からデジタルフォースゲージにて0.5Nの力で押し、変形の大きさを比べた。実験に用いたスポンジの材質は同じ。

(B.Aリサーチセンター調べ)

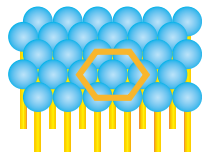
【処方開発の着眼点】

B.Aリサーチセンターは、肌そのもののハリ・弾力感を肌上に感じるような、やわらかな角層を目指すために、新たに細胞間脂質のラメラ構造の並び方に着目し、「ラメラ構造を上から見る」視点を取り入れました。実は、ラメラ構造は、横から見ると同じ距離感で並んでいても、上から見ると、異なる並び方がいくつか存在し硬さも異なります。細胞間脂質同士の距離が近く密に詰まった並び方は、とても硬く、少しゆとりをもって並んでいる細胞間脂質はやわらかいことがわかりました。

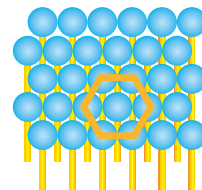
これまで：横からラメラ構造を見る



新着目：上からラメラ構造を見る



満員電車のようにぎゅうぎゅうで硬く、身動きが取れない状態



ゆとりをもって整列している状態

*イラストはすべてイメージです

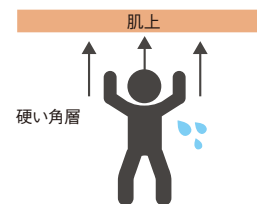
B.A グランラゲゼⅢの処方技術 ※B.A グランラゲゼⅣでも採用

高分子ヒアルロン酸を小さく凝縮。ふくらむようなハリ・弾力感を与えるハイエクспанディング処方。

磁石の原理をヒントに、美容液内ではマイナスを帯びた高分子ヒアルロン酸にプラスを帯びたHAバンドをくっつけることで高分子ヒアルロン酸をナノサイズのボール状に凝縮。



しかし、角層が硬い状態では、肌そのもののハリ・弾力感が、肌上には反映されにくいと考え、B.A グランラゲゼⅣでは新しく「バウンスリフレクト処方」を取り入れました。



*イラストはすべてイメージです



[製品特長]

感性品質

感触

溶け込むように心地よいまどろむようなテクスチャーから、ハリを感じる密着感へ変化。



香り

アーシミュージアム

生命の循環の源である土から咲き誇る多様な草花を表現したアーシィ*フローラルウッディの香りで、生命の育みにつつまれて自分を満たすような、豊かなスキんケアタイムを。

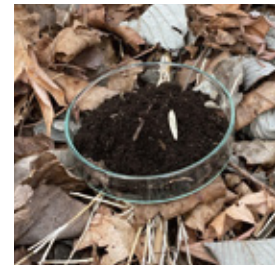
静の時間へ誘うような香りとして、自分の感情が内側に向かい、没入するような大自然の土の香りに着目。新たに「ヘッドスペース法」という手法を採用しました。

*アーシィ：土のような

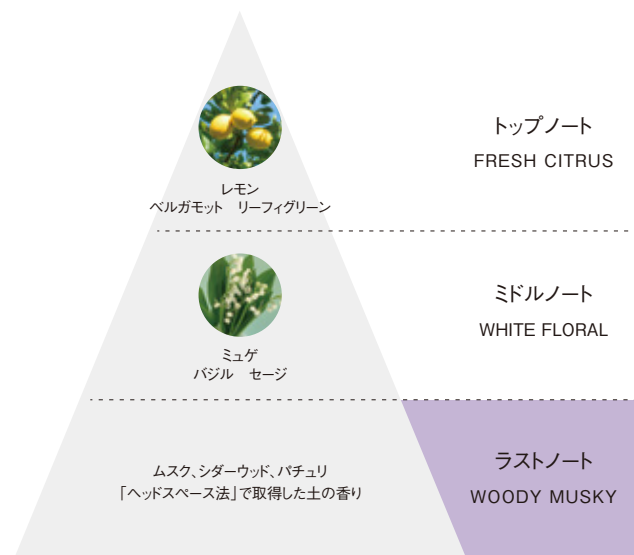
ヘッドスペース法

植物などを伐採したり傷つけることなく香りを採取・分析し、合成香料にて再調香する手法。

植物の周りに漂う香りを採取するため、植物を傷つけず、さらにその場にいるような自然な香りを作ることが可能。人の手が加わっていない、箱根の森にあるリアルな土の香り成分を採取。



土から漂う香り成分をガラス容器にため込んでいる様子



(写真はイメージです)



[製品特長]

アートワーク

B.Aの生命美を長年にわたり表現してくださっている世界的フラワーアーティスト東 信氏と、今回もブランドのアートに挑戦。生命の源である水と其中でたゆたう花々が融合した作品で、新生グランラグゼの世界観を表現しました。



水を入れた大きな水槽を複数セットし、実際に花を約1ヶ月その中に浸し、その過程を撮影しながら制作しています。今回のコンセプトである「連続性」や「循環」を表現するため、時間軸違いで3種のアートワークを作成しました。

まずは、動から静へ入り始めた状態。生き生きとした花々の勢いを感じながらも、水の中に溶け込み始めていく様子を表しています。



「静」に没入している状態。メインのアートワークです。水の中でたゆたいながら美しく咲く花々が没入し、ゆったりとした静の時間ながらも、花々の生命の「動」のエネルギーが内包され、次の覚醒に向けて力をチャージしている、秘められたエネルギーを表します。



最後は、静から動へ覚醒期に変わっていく時間。溶け散る草花の中で再び湧き上がる躍動感を表しています。

デザイン コンセプト「無意識の覚醒による感受性の広がり」

没頭・没入する行為や静の時間を、未完成のような造形、感触、多様にうつろう表情として込めたデザイン。視覚はもちろん、触覚への刺激にもこだわり、使用する際に手になじみ、いつまでも触っていたくなるような感触をデザイナーが手作業で、作りあげました。



包装

人を想い、こだわり抜いた気持ちまで包み込んで、日本古来からの“折って包む”文化を取り入れた包装。1枚の紙を計算しつくされた折り方で、1つひとつを手作業で包んで作られる、新発想の包装を開発しました。廃棄される包材のミニマム化も両立した、次世代ラグジュアリーのパッケージ。

POLA

使用方法

- ・ローションで肌を整えた後、適量(1~2プッシュ)を手に取り、顔全体にやさしくなじませてください。
- ・手のひらで顔全体を包み込んで密着させます。
香りを感ずるように、深い呼吸とともに行います。

〈ゆったりと気分を落ち着かせ、充足するような美容法〉

- ・目を閉じて、中指と薬指でまぶたをこめかみまでさすります。(3回)
- ・こめかみをもみほぐすように円を描きます。
- ・最後に、頬全体をやさしく引き上げ、ハリを記憶するかのよう3秒ほどキープ。

使用ステップ



※肌の悩み・状態に合わせてお使いください。クレンジングクリームは、メイク・UVカット品使用時は必ずお使いください。

社会・地球環境への取り組み

商品外箱



生物由来のインクを採用

生物由来の資源(バイオマス)から成分を抽出して製造したインクを一部使用し、箱への印字を行うことで、生態系の保護に繋げる。

森林認証紙を採用

適切な森林管理のもとに作られた木材を使用した、森林認証紙を採用。

容器



リサイクルPETを採用

リサイクルPETを一部に使用し、化石資源の保護や二酸化炭素の削減に貢献。

※PET: ポリエチレンテレフタレート

パンフレット



WEBパンフレットを採用

ペーパーレスへの取り組みとして、紙のパンフレットを廃止し、箱に記載されたQRコードを読み込むことで使用方法、全成分表示、使用方法動画が閲覧可能なWEBパンフレットを採用。

※使用方法・使用料などは外箱にも記載があります。

※5言語対応(日本語・英語・繁体字・簡体字・タイ語)



主な配合成分

配合目的	配合成分	全成分表示名称
保湿成分	姫蒲G0エキス*	ヒメガマ穂エキス、カミツレ花エキス
	白桜バークV*	ヨーロッパシラカバ樹皮エキス、オウレン根エキス
	仙人穀ロスマ*	センニンコク種子エキス、セージ葉エキス
	BAコアリキッド*	イガイグリコーゲン、ヘチマエキス、チョウジエキス、イザヨイバラエキス、加水分解コンキオリン
	YACエキス*	ヨモギ葉エキス
	EGクリアエキス*	レンゲソウエキス
	ゴールドンLP*	加水分解シルク
	Sプロテインリキッド*	ユキノシタエキス、ヒキオコシエキス-1、加水分解ローヤルゼリータンパク液
	ブレインクrostークRU*	カシア樹皮エキス
	BPルミナエキス*	ショウブ根茎エキス、マヨラナエキス、クララエキス-1
	ディーブラスター*	オウゴンエキス、アサガオカラクサエキス
	m-Aクリアエキス*	海藻エキス-1、ローズマリーエキス
	セルエンスAC*	アマチャエキス
	SCRキッド*	ビワ葉エキス
サクラ葉抽出液	ソメイヨシノ葉エキス	

※は、ポーラオリジナル複合成分またはポーラオリジナル成分。 ◆無着色 ◆アレルギーテスト済み（全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません）



ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」のオフィシャルパートナーです。

POLA

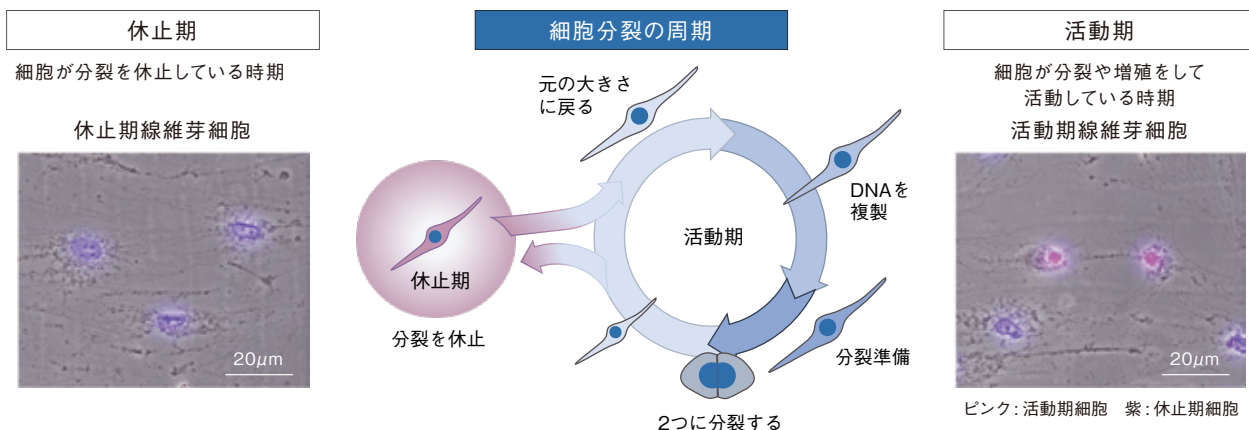
新着目

細胞の休止期

B.Aリサーチセンターは、人の可能性をさらに広げるため、「細胞の休止期」に新たに着目しました。休止期とは、細胞が分裂を休止している時期です。細胞が盛んに分裂している活動期と比べて、細胞の活動が低下する傾向にあることが知られています。

細胞分裂の周期とアプローチ

細胞分裂の周期は、活動期と呼ばれる細胞分裂を盛んに行う時期と、分裂を休止する休止期に大きく分類されます。休止期の細胞だけを取り出す方法がなかったため、これまでにあまり休止期については知られていませんでした。しかし、ヒトの生命活動においても休息の時間が重要であるように、肝臓や神経など皮膚以外の一部の組織では、休止期しかないのですが、特異的な活動が知られています。そこで、皮膚においても、休止期の細胞にまだ見ぬ可能性が秘められているのではないかと思い、着目しました。



新発見

休止期に産生が高まるコラーゲンを発見

B.Aリサーチセンターは、真皮線維芽細胞には休止期に産生が高まるコラーゲンがあることを発見しました。そのコラーゲンとは、「コラーゲン6」です。コラーゲン6は、肌全域の組織同士を結合して肌構造を強固にします。さらに、ヒトの真皮線維芽細胞でオートファジーを活性化させることも、新たにわかりました。

コラーゲン6の特長

コラーゲン6は、肌全域の組織、真皮と表皮、真皮と血管、脂肪同士などの境目等に存在し、つなぎ合わせる役割をもちます。コラーゲン6が少なくなると、組織同士の結合が弱まり、構造の強度が低下。たるむ方向へ向かうと考えられます。つまり、コラーゲン6はリフトアップにとって重要な因子と言えます。



コラーゲン6が少ない肌

たるんでくすんだ状態

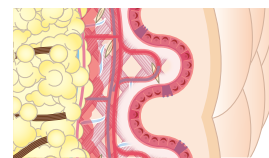


組織同士の結合が弱い
強度が低下し、たるむ



コラーゲン6が多い肌

リフトアップ! 輝きのある生命感あふれる肌



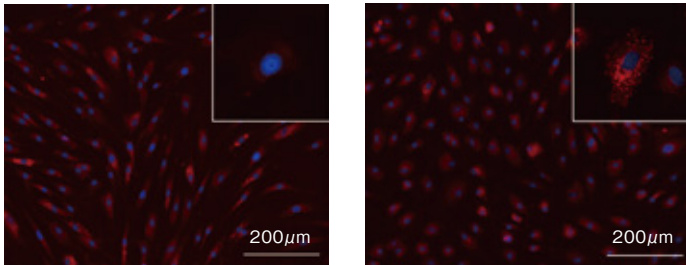
組織同士ががっちり結合
強度が取り戻され肌構造が強化

(写真・イラストはイメージです)

休止期と活動期のコラーゲン6産生の違い

左下の写真は、休止期と活動期のコラーゲン6産生量の違いを示すものです。休止期の線維芽細胞では、コラーゲン6が増えていることがわかります。右下のグラフでは、コラーゲン6の産生が活動期と比べ、休止期では約1.5倍に増えていることがわかります。

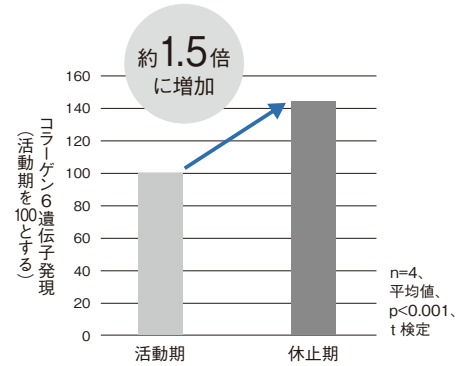
〈休止期では、活動期よりもコラーゲン6を多く産生〉



活動期の細胞

休止期の細胞

活動期と休止期の線維芽細胞を培養し、コラーゲン6を試薬で染色した。



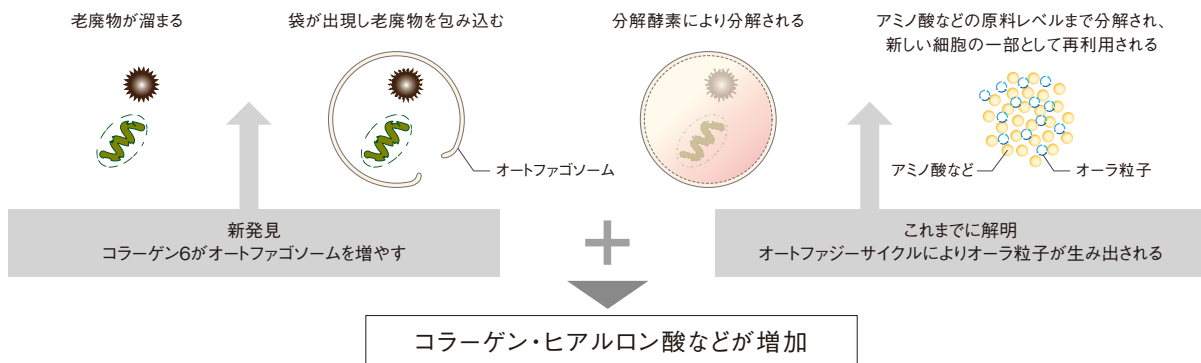
活動期と休止期の線維芽細胞を培養し、遺伝子の発現量を調べた。

(B.Aリサーチセンター調べ)

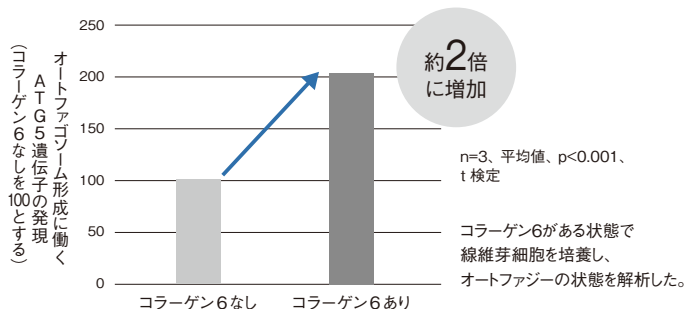
コラーゲン6がオートファジーサイクルを活性化

オートファジーとは、細胞内に溜まる老廃物をリサイクルするシステムのことです。その過程で、加齢などで引き起こされるオートファジーサイクルの停滞が解消され、肌の輝きに寄与するオーラ粒子が生み出されることは、これまでの研究で解明してきました。

今回は加えて、さらにその前の工程、オートファジーが始まる段階で、コラーゲン6がオートファゴソーム(オートファジーを行う袋状の構造)を増加させることがわかりました。つまり、オートファゴソーム自体が増えることと、停滞が解消されること、この2つのアプローチでオートファジーの機能が複合的に高まると考えられます。



右のグラフは、オートファジーを開始させる遺伝子発現を確認したデータです。コラーゲン6があることで、その遺伝子は約2倍に増加しました。



(B.Aリサーチセンター調べ) (イラストはイメージです)

